

# 常識にとらわれず日本経済の復活を!



### 新河岸川の水辺再生100プラン 合同完成式典に出席

直後の平成九年度だけ一兆円税収が増えましたが、消費税を下げたら、所得税と法人税の税収が下がらず、かえって税収が下がったという実例も、消費税三%から五%に上げた橋本内閣時代にあるんですね。消費税を上げた



### 大阪府議会を視察・維新の会と

もう変な常識に騙されてはなりませんね。日本国民の九十五%が国債を買い支えているの訳で、宣伝されている金利の急上昇も、ハイパーインフレも全然起こらない。むしろデフレで国民が苦しんでいる訳ですよ。

## 鈴木正人・県政報告会



相変わらず中央政治の混乱と共に、厳しい時代が続いておられますね。この失われた二十年。我々の働く世代の給与は平均で年収約百万円も減り、一人当たりのGDP(国民総生産)も平成十二年(2000年)では世界三位だったものが、現在は十七

位まで下がっております。名目GDPでは二十年前より現在の方が低くなっております。明らかに物価がほとんど下がっていき、経済状況である「デフレ」が続いており、この事が庶民を苦しめている訳なんです。が、こんな時に政治生命を賭けて消費税の増税を

政府が閣議決定してしまいましたね。私も今の政府の財政状況が問題無いとは言いませんが、このタイミングで消費税を十%にする増税を命じてやらなきゃならないのでしょうか。デフレが進み、経済が縮小している訳ですよ。一般庶民の年収が減っている所に、税金を増やせば、当然可処分所得(給与の手取り)が減る訳です。その分消費(買い物)を控える訳ですね。そうすれば、日本経済は益々元気が無くなり、GDPが減る訳ですよ。

次の平成十年度はマイナス四兆円。平成十一年は、さらにマイナス二兆円と二年で六兆円も税収が下がってしまっただけなんです。消費税一%分、約五兆円の税収が増えなければならぬのに、実際は五%導入前より五兆円も税収が減ってしまった。これが現実なんです。財務省は必死に国の借金一千兆円。国民一人当たり八百二十万円で大変な事態であると宣伝してきました。私も一時期その宣伝の影響を受けて騙された人もいますよ。

れかけておりましたが、よくよく考えたら、国の借金という言い方はちょっと問題ですね。なぜかと言えば、一千兆円という額のは国の借金ではなく、政府や地方自治体の「負債」であって、その国債なり地方債を買い支えているのは、ギリシヤと違って我々日本人国民なんです。だから、国民の立場からすれば、国や地方にお金を貸している財産でもある訳ですよ。

平成24年3月4日(日)に開催させて頂いた、県政報告会では、お陰様で多くの皆様にお集まりいただき、鈴木正人の熱い県政報告の後、和やかな雰囲気の中で、大変盛況に開催出来ました事を心より御礼申し上げます。

## 日本はギリシヤとほ全く違う! 消費税の増税では失速する。

日本経済再生はデフレ脱却から!

# やまわらめか新聞

### 第72号

発行者 刷新の会 県議会議員鈴木正人 〒353-0004 志木市本町5-4-34 TEL048-476-7525 FAX048-476-7526

新緑の候、皆様ご健勝のこととお喜び申し上げます。地元志木市の市議会議員選挙も終わりを、新しく議員さんが選出されました。お祝い申し上げると共に、共に地元発展の勝つこととお喜び申し上げます。知恵を出し合いながら、志木市、そして埼玉県を良くしようと、共に地元発展の勝つこととお喜び申し上げます。知恵を出し合いながら、志木市、そして埼玉県を良くしようと、共に地元発展の勝つこととお喜び申し上げます。

## 市議選を終えて

主導の政治を打破すべく、これからも頑張りますので、よろしくお願い致します。



### 県政レポート 2012 suzuki masato No.72 埼玉県議会議員

# 鈴木正人

ホームページ <http://www.trans.ne.jp/masato/>

## 平成24年2月定例会報告 熱き県議会議員43歳

埼玉県議会2月定例会は3月26日、平成24年度一般会計当初予算案など79議案を可決し閉会しました。

## 埼玉県議会、がれき受け入れを決議して閉会

東日本大震災で発生したのがれきの受け入れに引き続き取り組むよう県に求める決議が議員提案され、全会一致で可決。可決された議案のうち、県が提出した約1兆6800億円に上る一般会計当初予算案など72件については、原案通り可決。県の政策指標を定める5カ年計画は、議会主要4会派でつくる「議会あり方研究会」が作成した5カ年計画を反映させ、修正可決しました。また、議員提案は「拙速な人権救済機関の設置を目的とする法律の制定に反対する意見書」など6件を原案通り可決いたしました。



## 2月定例会を振り返って 刷新の会代表 鈴木正人

### 平成24年2月27日 代表質問



2月定例会では、刷新の会から私が代表質問に、越谷市選出の藤澤慎也議員が一般質問に登壇いたしました。代表質問では平成24年度予算案を始め、教科書採択、神話教育、朝鮮学校に対する補助金問題等について質問をいたしました。

一般質問では地方主権モデルの発信など行財政改革、生活道路における交通事故防止対策、学校評価制度、中小企業支援等について質問をいたしました。また、予算特別委員会には、中屋敷議員、小野議員、

菅原議員が登壇し、平成24年度予算案関連の質疑を行いました。

我々刷新の会は、平成24年度予算案に対して、行財政改革の取り組み、知事の三大公約を始め、大きな波及効果が期待できる政策展開となっている点等を評価し、賛成をいたしました。刷新の会は、郷土の歴史伝統を守る信念を持ちながらも、県民目線で県政の刷新を目指し、発言、提言を行う、今後も、県民の皆様身近な県政、県議会を目指して参ります。

## 代表質問 刷新の会 鈴木正人 「平成24年度予算案について」



【鈴木正人質問】平成24年度の予算編成においては、厳しい財政状況が続く中、どのような理念を持って、どんな分野を切り込み、一方で税収を上げるためにどのような施策を展開し、限られた財源の中で埼玉県経済を活性化させるための特徴ある施策を取られたのかお尋ねする。



【上田知事答弁】「行政サービスを低下させないで定数削減」「管理職の手当など県庁の組織体制を効率的に」と県庁の組織体制を効率的にしていこう。また、「新エネルギー分野・医療福祉分野に関する研究開発プロジェクト」「次世代自動車支援センター 埼玉」を中心とした将来の増収体制を目指した形で、成長分野に重点的に配分する考え方をもって編成をした。

さらに「海外のマーケットへの参入促進の取り組み」として上海に加えて、ベトナムにも海外進出拠点を設置し、米国市場にも医療機器分野での展示会への出展を支援していく。そして、女性の多様な働き方を支援する「ウーマノミクス課」を設置し、短時間勤務制度の導入を推進し、女性の経営者にターゲットを絞って制度融資や創業支援なども実施していく。

新エネルギー、太陽光発電設備は1件辺りの補助金を「10万円」を助成し全体で「8億円の補助金」によって「約210億円の投資効果」と「設備設置業者等の雇用」にも役立つと考えている。

少子高齢化の急速な進行の中での社会保障関係費の伸びや、大規模災害への備えなど、先送りのできない目の前の状況課題にも平成24年度予算案は対応している。

**県政についてのご要望はこちらまで↓**  
刷新の会 志木支部 鈴木正人事務所  
〒353-0004 埼玉県志木市本町5-4-34  
TEL: 048-476-7525・FAX: 048-476-7526

